

〔衆議院本会議〕

財政演説に対する代表質問

立憲民主党・無所属
鎌田 さゆり

立憲民主党・無所属の鎌田さゆりです。
会派を代表し、ただいま議題となりました鈴木財務大臣の財政演説に対する質疑を行います。

【世界平和に対するコミットメント】

先週 11 月 15 日、国連安保理において、一致点を見出し、ガザにおける戦闘の『人道的休止』を求める決議が可決されました。国際社会の一致した声が両者に届き、人道的な長期の休戦が実行されることを切に望むものであります。

1. 決議案の提案者ではなかった我が国は、決議採択に向けて、どのような努力をされたのか、総理、ご説明願います。

【政治と金の問題】

自民党の 5 つの派閥の政治団体について、政治資金パーティーの収入の一部が収支報告書に不記載だとして告発状が出ています。もし事実なら、自民党中に政治と金の問題が広がっている可能性があります。岸田総理は宏池会の会長として、自民党総裁として説明責任を果たすよう強く求めます。

【6月の骨太方針と補正予算案】

コロナが5類となり、「歳出構造を平時に戻していく」と6月の骨太方針で高らかに謳ったにもかかわらず、物価高対策以外の予算が圧倒的に大きい水膨れの補正予算案として提出されました。

2. 選挙目当ての所得減税の次は、選挙目当てのバラマキ予算ではないですか。

『歳出構造を平時に戻していく』との方針は撤回したのでしょうか。岸田総理に伺います。

【岸田総理のリーダーとしての資質】

総理、覚えていらっしゃいますか『岸田ノート』『私には聞く力がある』と、掲げていたがもはや聞く力があるとは思えません。『分配』の言葉はお蔵入り。実質賃金は 18 か月連続でマイナス。直近の GDP もマイナス成長。唐突に浮上した『所得税減税』も、開始は来年の6月。

あまりに遅く、この先に控える『増税』を、覆い隠す為の選挙目当ての『偽装減税』だと、多くの国民が見透かしていることすらも、感じられなくなるほどの鈍感力が著しいです。

【大阪万博の費用増による国民負担の増大】

さて、2025年開催予定の大阪・関西万博についてです。

会場建設費が当初の倍近く膨れ上がり、350億円の『大屋根(リング)』は、誰もが『お金をかけ過ぎている』と感じる事業すら見直さないまま、費用増額を容認し国民に負担を押し付けるのは、もうやめていただきたい。『身を切る改革』とは真逆ですね。国民負担を『打ち出の小槌』とでも思っているなら、大間違いです。

3. 今回の増額で、国民、大阪府民、大阪市民の負担は、一体幾らになるのでしょうか。総理、お答えください。

4. 総理、もう『物価上昇の影響が想定外だった』という見通しの甘さで、今以上の国民負担が生じることはあってはなりません。更なる国民負担は無いと、この場で約束してください。

【辞任ドミノ】

総理が任命した政務三役の相次ぐ辞任は、もはや『辞任ドミノ』です。総理の言う【適材適所】とは、【不適材 不適所】でしたね。

5. 副大臣、政務官に女性を起用しなかったことは、総理は間違いではなかったと今でもお考えですか。総理お答え下さい。

【還元の原資について、総理と財務相の認識の齟齬】

総理は、所得税減税にあたり、過去2年間の増収分を国民に還元すると表明されました。一方、11月8日衆議院財務金融委員会において、鈴木財務大臣は『この過去の増収分は既に使っている』つまり、還元の原資は、もはや存在しない旨の答弁をされました。総理大臣と財務大臣と言っていることが違うではないですか。

6. 総理、還元の原資は既に存在せず、所得税減税のためには、新たに国債、つまり借金をしなければならないとお認めになりますね。

財源があるかのように語り、国民を欺いて罪悪感はないのですか。

7. 総理、今、ここで「増収分を国民に還元する」という発言は、根拠がなく誤りだったと認め訂正すべきです。いかがですか。

【旧統一教会の財産保全見送り】

旧統一教会による被害者救済のため、被害者や全国霊感商法対策弁護士連絡会は『財産保全』の必要性を訴えています。私たち立憲民主党は、臨時国会開会日に『財産保全法案』を提出しています。一方、与党側から出された考えは、財産保全の法律は作らず『裁判の支援を強化する』という内容です。裁判の支援強化は勿論必要ですが、真に寄り添う態度とは、ほど遠いと言わざるを得ません。

8. 総理にお伺いします。もし、財産保全法を成立させないのであれば、いざ、解散命令が出た際に、旧統一教会の資産がすでに韓国や他団体に移された後で、被害者には、全く賠償金が支払われない危険性がありますが、自民党としては、被害者に賠償金が一切、支払われず、被害者救済が全く実現しなくても、全く構わないということですか。
なぜ、自民党は、被害者からの財産保全の切なる要望を聞かずに、『財産保全法は、憲法違反だから、成立させないように』との旧統一教会からのファックスの要望通りの方針を決定したのですか。今迄、選挙応援をしてもらい、これからも選挙応援をしてもらおう旧統一教会へのご恩返しですか。お答え下さい。

私が生まれ育った家庭は、自民党選挙のド真ん中にいました。

自民党の選挙と言えば旧統一教会から全面支援を受けていたのを見てきましたから こう指摘せざるを得ないのです。旧統一教会同様、旧自民党から脱却できないのでしょうか。

9. 裁判で旧統一教会による被害が認められ、賠償請求ができたとしても、財産が散逸し、救済されないことにならないために、自民党総裁として、立憲民主党の財産保全法案に賛同し、成立させるよう自民党に指示すべきではありませんか。

【悪質ホストクラブによる被害防止】

『悪質なホストクラブ問題』について、この問題は、客に支払い能力をはるかに超える数十万円、数百万円もの売り掛け金債務を負わせ、その返済のために風俗で働くことや売春を強いる点に悪質性があり、客の支払い能力をもとに信用を与える通常の売り掛けとは全く異なります。人生を狂わされるケースや、被害者が自死に追い込まれる被害も出ています。職業安定法違反、売春防止法違反による逮捕も相次ぎ、消費者契約法のデート商法に該当する可能性があり、海外での売春にも拡大し、露木警察庁長官は、背後に犯罪グループが存在する可能性を指摘しました。

私がお目にかかった被害者のご家族は

『自分の娘と同じ被害にあう人を無くして欲しい。私の娘は社会復帰のチャンスは与えられないのか。

助けて欲しい』と、切々と訴えておられました。

10. 総理、『悪質なホストやホストクラブ商法』は問題と思われませんか。

どのようにして被害を防止し、被害者を救済するおつもりですか。私たちが来週にも国会提出予定の現行法を最大限活用しての被害防止のための理念法案『悪質ホストクラブ被害防止法案』を超党派で成立させるべきではないですか。見解をお伺いします。

【介護職員・保育士の処遇改善の不十分さ】

私は、16年間の浪人時代を経て国会に戻して頂いた人間です。この間、父の介護をし、今、娘は保育士として働き、私の耳には『介護職』『保育士』の賃金アップを訴える声が多く寄せられています。

立憲民主党は、『介護・障がい福祉従事者処遇改善法案』そして『保育士・幼稚園教諭等処遇改善法案』も提出しています。

しかし、今回の補正予算案では、介護職員・障がい福祉職員には、2%程度の月額6千円アップにとどまっています。総理は報酬年額46万円アップ。『国庫に返納するから勘弁して』とは、何ともお粗末な顛末ではないですか。保育士等関連補正予算案では、620億円が計上されていますが、これは人事院勧告に伴う毎年のルーティン的な引き上げに過ぎません。子どもが好きという情熱だけで保育業務をやっていけるとでもお考えなのでしょうか。保育士さん達の悲鳴に近い声を『見ざる』『聞かざる』ではないですか。

11. 総理、月額6千円で、介護人材の流出を防ぎ、必要な人材を確保出来ると、お考えなのでしょうか。もっと引き上げるべきではないですか。また保育士の賃金をどう上げていくのか、プランがあるなら、今こそお示してください。

【岸田政権の子ども軽視】

児童手当の拡充は、今回の経済対策で前倒しが決定されましたが、実施は、来年の12月からですね。『国難』とは口先ばかり。全てが遅過ぎます。

立憲民主党は、財源を示した上で、10月に遡り今すぐ、高校生までの全ての子どもに、1人あたり15,000円の児童手当を支給することを提案しています。

12. 総理、児童手当の拡充は立憲民主党の案なみに増額をし、来年12月からではなく、今すぐやるべきではないですか。

貧困が背景にあり、一日3食、食べられない子どもがいる我が国の現実を総理は、直視すべきです。

私たち立憲民主党は、『児童扶養手当増額法案』をすでに提出しています。

総理も早稲田ゆき議員の質問に対して『児童扶養手当の拡充を検討する』と答弁されていますね。

13. 私たちの議員立法のように、児童扶養手当を、一子二子、三子以降でも、子ども1人あたり、月1万円を増額すべきではありませんか。総理のご所見を伺います。

【紙の健康保険証廃止問題】

厚労省は今年10月、『マイナ保険証』で診療情報を閲覧する仕組みを活用している病院の半数が患者にとってのメリットは無いと感じているとの、調査結果を公表しました。現実には、マイナ保険証の利用率は5月から6か月連続で低下しているのではないですか。10月分は、4.5%に過ぎません。

14. 総理、来年秋の今の保険証廃止は見送るべきです。そもそもマイナンバーカードは任意だったのではないですか。国民と自治体の混乱を招かないためにも、今すぐに廃止の延期を決断すべきです。ご見解を伺います。

【農業、鳥獣被害対策】

今年は特に、北海道・東北三県をはじめ全国各地でクマによる農作物への被害、人への被害も多く報告されています。山の手入れを疎かにし、林業政策にお金をかけてこなかった結果だと、私は、地元で多くのお叱りを受けています。

15. クマによる人への被害を防ぐためにハンターや専門家の不足に対し早急に対応すべきと考えます。総理のご所見を伺います。

【結びに】

人は誰でも、どこに、どのような環境に生まれるか選べません。生きる命がある限り、全ての人々が等しく幸福を追求する権利を全うできる日本社会となるよう私たち立憲民主党は、必ずや築いていくことを国民の皆様に誓い、わたくしの代表質問と致します。